

名建築のある場所へ

—ミラノ工務店—

物件の大小は関係ありません。信頼の上に築かれ、施主さんにも周囲の人々も長く愛される建物こそ、名建築といえるのではないのでしょうか

「建物は長生きしなくてはならない」という理念のもと、御社は新築工事とともに、改修工事にも実績を残されていますね。

ええ。代表例が、京都大学の法学部・経済学部本館の耐震補強工事です。実は昭和二八年に新築の際、当時のうちの専務であった小西敏雄が現場

所長として指揮をとりました。設計はミラノ工務店の名付け親である大倉三郎氏と、弊社とは深い関わりがある物件なんです。ですから改修工事のお話があったとき、何としてみうちでやりたい！と。本来、耐震補強は外壁に施すのが一般的ですが、「建物の外観はそのままに」とのご要望を受



工務部 統括工事長 荒井 修 さん

京都市立伏見工業高等学校卒業。ラグビー部で活躍し、レギュラーで全国大会に出場。ベスト8まで進んだ。師・山口良治先生に叩き込まれた熱き情熱で仕事に打ち込む日々。一般住宅、商業ビル、社寺などさまざまなジャンルの物件を手がけ、平成16年・17年の京都大学法経学部本館の耐震補強工事では、副所長、所長として現場管理にあたる。現在、堀川御池に移転する市立京都堀川音楽高等学校の新築工事で、副所長を務めている。



けました。京都大学では、時計台に次ぐシンボリックな存在となっていたようです。それだけ愛され、素晴らしい建築物であるという証ですから、ミラノ工務店の技術者として誇らしい気持ちでした。

「具体的には、どのような点で優れた建築物だと感じられましたか。」

白い石柱ですとかテラコッタが絶妙に配され、装飾性がありながら奇抜ではないんですね。今は

周囲の建物が新しくなりましたが、当時は、キャンパスにじっくりと馴染んでいたのではないのでしょうか。間近で見たレリーフの京大マークも線が繊細で美しく、今の職人にできるだろうか、その完成度の高さに感服しました。

「とても大変な工事だったそうですが。」

天井から床までをぶち抜いて、200トンのトレーラーを使い、7トンものパネルを運び入れるという大掛かりな工事でした。しかも、学生さんが使用しながらの工事でしたので、音を出すタイミングなどさまざまな規制があつて。また、欠けたり浮いたりしていたレンガは焼き直ししましたが、昔の風合いを損なわないよう、土選びや焼く温度を研究することから始めました。これらは、大変だったことのほんの一例です(笑)。

「ご苦労の分、達成感も大きかったのでは。」

竣工してシートがはずれたとき、年月を重ねた建物はやっぱりいいなあと、大きな満足感がありました。建物って、雨風にさらされますし、年月に勝てない部分があるんですね。でも反面、汚れも、舞ってきた葉の付けた緑のシミも、実に深い味わいになる。そういう意味では年月に負けない。丈夫さも含めて、いい建物って、そういうことかなと思います。

「名建築のひとつの条件でしょうか。」

名建築の定義付けは難しいですが(笑)。でも

「では、建築における信頼性とは何でしょうか。」

技術力の高さは言うまでもなく、それに加えてチームワークでしょうか。上に立つ者が、その仕事にいかに関心と情熱を注いでいるかを伝え、それに応えてくれる職人を集めることが大切。たとえば現場の前にドンと車を停めて作業をする業者もありますが、ご近所にご迷惑ではないだろうか、そこまで考えるチームでありたい。施主さんはずっと地域と関わって生きていくわけですから、私たちも細心の配慮が必要なんです。そして、たとえばペンキを塗れば隠れるような小さな傷ひとつも付けない努力を重ね、ごまかしのない仕事をする。新築でも改修工事でも、手がけた物件は自分の子と同じ。長く愛されて欲しいと願いながら、いつも現場に立っています。



株式会社 ミラノ工務店

京都市中京区夷川通河原町東入鉾田町310番地
本社 ☎075-231-0177 (代表)
滋賀営業所 ☎077-522-4138
http://www.milano.co.jp ISO 9001 認証取得



本館内の講堂は、受験会場としてニュースなどによく登場する。耐震補強工事の一環として、窓枠に耐震補強パネルを設置した。



改修工事前の教室。